

令和7年(2025年)11月16日

あらかわ

No.
292

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

荒川区議会は持続可能な開発目標
(SDGs)を支援しています。

区議会だより

令和7年度定例会9月会議号

YouTube



ホームページ



議会活動	2
9月会議の概要	2
趣旨採択された陳情	2
区政のここをさく	3
委員会活動の報告	11

令和6年度決算審査	14
決算に対する討論	16
議案の審議結果	19
視察受入報告	20
福島市長表敬訪問	20

コラム

傍聴してみよう	6
音声・字幕配信を実施中	9
会議録に触れてみよう	13
子ども議会が開催	18

議会活動

令和7年7月10日～令和7年10月8日

7月11日（区外視察）

○総務企画委員会

7月14日

○総務企画委員会

○福祉・区民生活委員会（区外視察）

7月15日（区外視察）

○文教・子育て支援委員会

○建設環境委員会

7月22日

○若者支援・健全育成調査特別委員会

7月24日

○震災・災害対策調査特別委員会

○財政援助団体調査特別委員会

7月31日～8月1日（行政視察）

○議会運営委員会

8月27日

○議会運営委員会

8月28日

○総務企画委員会

○福祉・区民生活委員会

8月29日

○文教・子育て支援委員会

○建設環境委員会

9月11日

○議会運営委員会

○本会議

9月12日

○本会議

9月16日

○総務企画委員会

○福祉・区民生活委員会

9月17日

○文教・子育て支援委員会

○建設環境委員会

9月19日～10月3日

○決算に関する特別委員会

※9/20～23、26～28、10/2を除く

10月8日

○議会運営委員会

○本会議

9月11日～10月8日までの期間（太字）に
令和7年度の9月会議が開かれました。



9月会議の概要

～令和6年度歳入歳出決算を認定～

9月会議の1日目・2日目には、13人の議員から区政全般にわたり一般質問が行われました。

9月会議には議案23件が提出され、いずれも原案どおり可決・認定されました。そのうち、令和6年度歳入歳出決算に関する議案4件は、決算に関する特別委員会にて審査を行いました。

※審査の経過はP.14～15に掲載

9月会議の最終日には、令和6年度荒川区一般会計歳入歳出決算に対し、各会派から討論が行われました。

※討論の要旨はP.16～18に掲載



9月会議における
区長挨拶の様子



9月会議の様子

趣旨採択された陳情

趣旨採択

令和6年度第1号陳情

母が中国で不法に逮捕されている件に関する陳情

区政のここをきく

9月11日、12日の本会議にて、一般質問が行われました

一般質問要旨

※ 二次元コードから一般質問の動画が視聴できます



区の将来像／児童虐待防止と子どもの健全育成について

並木 一元
(自民党)



区の将来像について

問 物価高騰や不安定な国際情勢等による区財政への影響が懸念されており、歳出削減を一層進める必要がある。学校や庁舎の建て替え計画に基づき基金の計画的な積み立て等、中長期的な視点を持って財政運営を行うべきと考えるが、見解を問う。

答 建設費等の大幅な増加が想定される中、これまで以上に中長期的な視点に立った財政運営が必要と認識している。より一層の歳出削減や特別区民税の収納率向上に努め、新たな財源確保にも取り組み、持続可能で健全な財政運営を推進していく。

問 新たな基本構想の策定にあたっては、区民の声を十分に生かし、災害への備えや施設の改修、男女共同参画対策の推進、労働者人口の減少、外国人の受け入れなど、重要課題の解決への道筋をつけるものにすべきと考えるが、区の見解を問う。

答 アンケートやワークショップ等、あらゆる方法で区民からご意見を伺っている。引き続き対話を大切にし、顔の見える関係づくりを進めるとともに、区民等の貴重なご意見を可能な限り反映し、新たな基本構想の策定に鋭意取り組んでいく。



▲基本構想の策定

問 DXの推進については、デジタル技術に不慣れな方を取りこぼさず慎重に取り組み、人材育成を推進し、新たな技術の活用により効率的な区政運営を推進すべきと考えるが、見解を問う。

答 手続きのオンライン化や「書かない窓口」、地域のデジタル化の取り組みを進めていく。生成AI

等の活用も積極的に進めており、職員の研修派遣や専門人材の配置等、全庁一丸となって取り組む。

児童虐待防止と子どもの健全育成について

問 児童相談所の開設から5年が経過した。子どもの安全を担保していくために、職員一人ひとりの更なる知識・技能の向上が必要である。将来を見据えた専門人材の育成について、見解を問う。

答 専門研修やOJT等の取り組みを通じて、実践的な知識と技術の習得を促している。更に、都と児童相談所設置区が締結した協定書に基づき、人材育成の拡充についても検討を進めている。



子ども家庭総合センター
(児童相談所)

問 学校におけるヤングケアラーに対する支援について、令和7年1月に実施した実態調査の結果を踏まえ、取り組みの検証を行い、全庁的な支援を行うべきと考えるが、区の見解を問う。

答 調査結果を受け、職層に応じた研修の実施や安心して相談できる体制の整備、個別面談の実施や適切な支援機関へつなぐ環境の整備、放課後の個別指導体制の確立など、対応を強化している。

問 区が誘致し、開設3年目の児童養護施設について、今後も地域密着の施設としての使命を果たしつつ、地域の子育て支援に資する取り組み等を強化していく必要があると考えるが、見解を問う。

答 児童養護施設「クリスマス・フォレスト」では、施設本来の機能に加え、ショートステイ事業や里親支援事業を実施している。引き続き連携を深め、地域の子育て環境づくりに取り組んでいく。

その他の質問項目

○商業振興について

○スポーツを基にした健康づくりについて



シティプロモーション推進／ A I・データ活用等について

花澤 昭信

(ゆいの会 (都民ファースト・
国民民主・あたらしい党・無所属))



シティプロモーション推進について

問 現代の地域課題に対し、シティプロモーションをどのような観点から必要と捉えているのか。

答 シビックプライドの醸成や関係人口の増加が区の発展につながると考え、施策を進めている。

問 シティプロモーションの目的やターゲット等の戦略的な方向性について、区の見解を問う。

答 令和8年度に向けて基本方針を策定する方向で検討しており、区全体で戦略的に取り組んでいく。

問 P D C Aの可視化や第三者評価の導入を含め、成果評価の仕組みづくりを検討すべきと考える。

答 新たな指標により区民満足度等を客観的に測定するとともに、効果的な検証方法を研究していく。

行政サービスの改善における「A I・データ活用」と“ブロードリスニング”の仕組み化について

問 住民の声やアンケート結果を収集・分析した政策反映の仕組みや課題、A I等を活用した自由意見の分析・可視化の導入について、見解を問う。

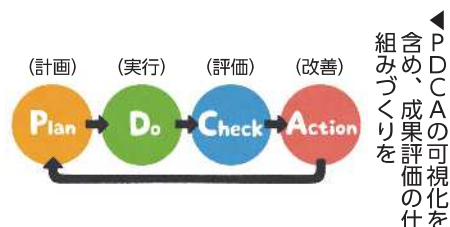
答 基本構想策定のためのアンケートでは結果を可視化するため、ワードクラウドという手法を活用する予定であり、今後も調査研究を進めていく。

問 無作為抽出等を活用した対話の仕組みや、ブロードリスニングの体制整備について、見解を問う。

答 他自治体の事例等を調査研究し、区民の声を区政に反映する仕組みづくりに取り組んでいく。

その他の質問項目

○キャッシュレス決済の導入促進について



若者支援／南千住浄水場跡地 (天王公園) について

増田 峰子
(公明党)



若者支援について

問 高校生以上の若者を対象に、就労、生活等を一貫して支援できる（仮称）若者支援課を設置すべきと考えるが、区の見解を問う。

答 若者の悩みや不安等をしっかりと受け止め、より包括的に支援できるよう、窓口のあり方や組織も含めて検討を進めていく。

問 他自治体の事例を参考に、全小中学校において、年齢に応じた段階的な性教育を柱とした人権教育を積極的に推進すべきと考えるが、見解を問う。

答 他自治体を参考に調査研究を行い、子ども達の心身の機能の発達と心の健康等の健全育成を図り、性教育を柱とした人権教育を推進していく。

南千住浄水場跡地（天王公園）について

問 南千住浄水場跡地の整備において、子ども達が安全に伸び伸びと遊べる親水エリアの設置を求める。また、子ども達の健やかな成長を支えるため、季節や天候に左右されず安心して遊べる屋内遊び場を設置すべきと考えるが、区の見解を問う。

答 現在の水遊び施設は整備後30年以上が経過していることから、公園整備にあたり新たな水遊び施設を整備する方針である。屋内遊び場施設についても検討の必要性は認識しており、今後、コスト等の課題を含め総合的に調査研究し、魅力あふれる公園となるよう取り組んでいく。

その他の質問項目

○公営火葬場について



南千住浄水場跡地



障害のある子どものいる世帯への支援等について

相馬 ゆうこ
(共産党)



障害のある子どものいる世帯への支援について

問 障害のある子どものいる世帯の実態を把握し、支援の実施と母親の就労を保障する施策が求められているが、その現状について区の認識を問う。

答 障害児の保護者の就労は、就労時間や就労の継続等についての課題がある。経済的不安や孤立を解消するための環境整備を推進していく。

問 国と都に対し、障害児支援の所得制限の撤廃を求めるとともに、区の支援においても制限を撤廃することを求めるが、区の見解を問う。

答 主な障害児向けサービスに所得制限は無いが、障害児福祉手当等に所得要件を設定し、予算を効果的に分配することで支援の均衡を図っている。

障害のある子どもの放課後の居場所確保について

問 区立の放課後等デイサービスを設置すること。また、区として放課後等デイサービスのあり方を示し、重症心身障害児も受け入れるよう、質と量の確保を図るべきと考えるが、見解を問う。

答 重度障害のある子どもの受け入れ可能な施設が不足していることは認識しており、受け入れ数の増加に向け、必要な施策について検討している。

問 特別支援学校の校内に、学童クラブ等、放課後の居場所を設置するよう都に要望すること。

答 都の責任において検討すべきものと考えながら、今後も必要に応じて現場の状況を伝えていく。

その他の質問項目

○差別に苦しむ人をつくらない



特別支援学校内への放課後の居場所設置を都に要望すること



ICT教育について／多文化共生社会に向けて

久家 しげる
(立憲民主党)



ICT教育について

問 ICT教育の取り組みの成果を問う。また、タブレット等の使用による識字能力の低下、持ち帰る際の負担等の課題について、区の見解を問う。

答 ICT環境の向上は個に応じた指導や主体的な学びにつながっており、書く力や思考力の育成、個々の発達段階に応じた配慮も大切にしている。

問 今回のタブレット端末更新を機にこれまでの経験や実績を活かし、より先進的で特徴的なICT教育の実践を期待する。更に、A Iドリル等の教育ツールの活用を提案するが、区の見解を問う。

答 ハイスペックのクロームブックを導入するとともに、利便性の向上やセキュリティ面の確保等、整備を進めてきた。A Iドリルについては、他自

治体の事例等を調査し、導入に向け検討していく。

多文化共生社会に向けて

問 多文化共生社会に向けた取り組みや外国籍の区民等によるトラブルの発生状況を問う。諸々の問題を乗り越え、多文化共生社会の実現に向けて歩を進めていくべきと考えるが、区の見解を問う。

答 大きなトラブルの報告は無いものの、区報やパネル展等における周知・啓発のほか、様々な事業を実施しており、今後取り組みを進めていく。

問 他自治体の事例を参考に、区として多文化共生社会の実現に向けた意思表示をすべきと考える。

答 人権が尊重されるまちづくりの方向性を示す荒川区人権推進指針の改定を進めている。



より先進的で特徴的なICT教育の実践を期待



子育て支援に「あそび」の学びを ／部活動の地域移行について

山田 晴美
(維新・子育ての会)



子育て支援に「あそび」の学びを

問 自主性や臨機応変力、社会性等の非認知機能は子ども同士が遊ぶ中で培われ、基礎体力・身体機能の向上には外遊びが効果的という研究結果も立証されている。子どもの遊びについて大人が真剣に考え、子育て支援の観点から、保護者にもこの学びの機会を提供するよう要望する。

答 東京すくわくプログラムや区立保育園で実施している地域支援事業等は、保育士や保護者が遊びについての学びを認識する内容となっている。引き続き保育環境の充実を図り、遊ぶことの大切さについての認識を深める機会を保育士だけでなく保護者にも提供できるよう努めていく。

部活動の地域移行について

問 他自治体において、学校の施設管理を担う指定管理者が校内に本拠地を設置し、校庭や体育館を使って総合型地域スポーツクラブを運営している事例がある。区にもこのような受け皿を整備することで、部活動の問題解決だけでなく、地域での子育てを体現できると考えるが、見解を問う。

答 令和7年度から第三中学校において部活動の地域連携モデル事業を開始し、部活動への意欲向上や教員の負担軽減等が図られており、有意義な事業となっている。本事業の効果検証や他自治体の事例を参考にしながら、環境整備に努めていく。

その他の質問項目

○子どもの遊び場について



子どもの遊びを真剣に
考え、保護者にも学び
の機会を提供を

傍聴してみよう！



傍聴の
ご案内

- ・本会議、委員会はどなたでも傍聴できます。
- ・傍聴を希望される方は、会議当日に区役所本庁舎5階の議会事務局で受付の上、傍聴券を受け取ってください。

※以下の場合、事前に議会事務局までご連絡をお願いします。

- ◆ 児童及び乳幼児が傍聴席に入る場合（別室での音声視聴もご案内できます。）
- ◆ 手話通訳を希望される場合（日程等の都合により、ご希望に沿えない場合もあります。）

＼ヒアリンググループ&字幕表示システムが利用できます（本会議）／

- ・傍聴受付の際、利用希望の旨をお伝えください。
 - ・委員会での利用を希望される場合は、機材準備のため、議会事務局まで事前にご連絡をお願いします。
- ※各貸出台数には限りがあります。





プレミアム商品券の充実／ 六瑞小閉校問題について

菅谷 元昭
(自民党)



来年度のプレミアム商品券の充実について

問 令和8年度のプレミアム商品券事業については、通常の発行額で年2回実施することを要望する。キャッシュレス化を促進するためには、ポイント還元やプレミアム付与等の工夫とともに、キャッシュレス決済の手数料が高いことへの対応が必要と考えるが、見解を問う。

答 事業の実施回数や発行額の増額等、消費喚起につながる効果的な支援策の実施に向けて検討していく。キャッシュレス化の促進については、他自治体の先進事例等を参考に、手数料負担の課題に向けた国の動向を注視しつつ、商店街連合会と連携しながら、実施可能な対応策を検討していく。

学校建て替えに関わる六瑞小閉校問題について

問 令和7年7月の委員会で報告があった「学校施設建て替え計画案」には第六瑞光小学校の閉校計画が含まれているが、PTA等への事前説明は無く、反対運動が起こっている。PTA、町会、有識者等を含めた検討委員会を開催し、本件について議論を尽くすことを要望するが、見解を問う。

答 計画案については、校長会やPTA連合会等の関係団体への丁寧な説明を実施しており、保護者説明会の開催も予定している。町会等を含めた検討委員会の開催については、保護者説明会の実施後、具体的な時期や実施方法を検討していく。

その他の質問項目

○公契約条例と区内事業者の育成について



障がい者グループホームの入居家賃補助の拡充等について

竹内 明浩
(ゆいの会(都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属))



障がい者グループホームの入居家賃補助の拡充

問 障がい者グループホームの家賃負担の実態を把握するとともに、障がい者の地域生活を支えるには区独自の家賃補助制度の創設や、相談支援、日中活動先との連携、緊急時の対応等を含めた包括的な支援体制が求められるが、区の見解を問う。

答 実態を把握する中で、個々のケースに応じた支援を行っている。障がい者の生活を地域で支えるため地域生活支援拠点等を7か所定めるとともに拠点間のコーディネーターを配置してサービス提供体制を構築しており、今後も充実に努める。

平和都市宣言30年・戦後80年の節目における 当時の写真、資料の収集について

問 平和都市宣言30年、戦後80年を契機に、区

民や関係者から戦争関連資料として当時の写真・手記・生活用品等を広く募集し、デジタルデータ化を行い、保存・活用する取り組みを要望するとともに、図書館等における常設または巡回形式の小規模展示の開催について、区の見解を問う。

答 関係部署等と連携しながら引き続き資料収集や保管に取り組むとともに、デジタルアーカイブ化も検討していく。令和7年度は周年事業として、図書館での巡回形式のパネル展示のほか、映画観賞会や子ども向けのおはなし会等を実施しており、今後も平和を希求する取り組みを重ねていく。

その他の質問項目

○一次避難所の円滑な受付体制の確立について



夏休み子ども平和映画会



障がい者福祉サービスの充実／ 外国籍を背景に持つ児童・生徒 への支援体制の確立

山口 幸一郎
(公明党)



障がい者福祉サービスの充実

問 障がい者向けのショートステイやトワイライト事業は、実施場所や定員が限定されており、予約が取れない。在宅生活継続のためには、事業の拡充が急務の課題と考えるが、区の見解を問う。

答 新たに整備を計画しているグループホームにおいて、短期入所やトワイライト事業など、地域で不足している機能を併せて整備することを検討している。今後も支援の充実に努めていく。

問 「ara!kawa認定商品」の対象要件の緩和や専門アドバイザー派遣等により、福祉作業所の商品をブランディング化し、地域経済全体の活性化を図るべきと考えるが、見解を問う。

答 福祉施設等で製作された商品を含め、ものづく

りブランド「ara!kawa」の認知度向上と販路拡大に向けて、今後、実行委員会や専門家の意見、他自治体の事例等も参考に検討していく。

外国籍を背景に持つ児童・生徒への支援体制の確立

問 外国籍の児童生徒が増加する中、夜間中学におけるスキルやノウハウを有効活用するほか、学校内に国際学習支援センターを併設するなど、フォロー体制の拡充が必要と考えるが、見解を問う。

答 教員研修の実施や学校間での情報共有等により、指導方法や文化・宗教的背景への理解を深める機会を充実し、教育環境の整備を推進していく。

その他の質問項目

○公契約条例の制定に向けた審議会の設置



子どもの健やかな成長を社会で 支えるために／気候変動への対 処と環境負荷軽減について

北村 綾子
(共産党)



子育てにかかわる多様なニーズに応え子どもの 健やかな成長を社会で支えるために

問 ファミリー・サポート・センター事業の協力会員確保のための報酬引き上げと、区の支援により利用者の経済的負担を抑えることを要望する。

答 更なる状況の把握に努めながら、より利用しやすい事業となるよう環境の整備に努めていく。

問 小学校登校時刻前の児童の居場所確保と併せて、朝食の提供を行うことを要望するが、見解を問う。

答 児童の居場所確保については調査研究を進めている。朝食提供は現段階で実施する予定は無い。

問 他自治体での死亡事故を受け、区内の民間事業者が放課後に児童を預かる状況を把握すること。

答 「放課後児童健全育成事業」の届け出のある学

童クラブは現在無く、把握が困難である。

問 児童生徒用のタブレット端末のフィルタリングと情報リテラシー教育を区の責任で行うこと。

答 引き続きフィルタリング設定等の整備や情報リテラシー教育を推進し、学習環境を整備する。

気候変動への対処と環境負荷軽減について

問 エコ助成事業について、高齢者と障害者へのエアコン助成を増額するなど、事業を拡充すること。

答 東京ゼロエミポイント制度と区の助成制度の併用が可能であり、積極的な周知を図っていく。

問 気候変動に関する誤情報の発信が問題視されるなか、科学的根拠に基づいた情報発信を行うこと。

答 正しい情報を身近なところから発信していく。



荒川区ファミリー・サポート・センターの様子

鬼頭 あきゆき
(立憲民主党)



問 他自治体の事例を参考に、利便性の向上と啓発

答 試行では分別方法等について不安等の声があり、様々な啓発を実施している。資源の集団回収で高い実績を有し、支え合う文化を持つ荒川区において区民の声に耳を傾けながら取り組んでいく。



-

- ・ 本会議は**字幕配信**も実施しています。
会議当日、区議会ホームページからご覧いただけます。
- ・ 傍聴席で利用される場合は、専用のタブレット端末を貸し出します。利用を希望される方は、傍聴受付の際にお申し出ください。





誰ひとり取り残さない地域社会の実現に向けて／がん検診の有料化と若年層への啓発強化

夏目 亜季
(自民党)



誰ひとり取り残さない地域社会の実現に向けて

問 外国籍住民向けの案内冊子の作成等、多言語による情報整備の強化について、区の見解を問う。

答 外国人向けの生活便利帳の配付やSNSの発信等を行っており、更なる多言語化を検討していく。

問 販売直後のマンションの転売抑制策として、ルールづくりの検討と国への働きかけを要望する。

答 国等の動向を注視し、再開発組合等と協議するとともに、必要に応じて国に働きかけていく。

問 不燃化特区制度の継続にあたり、助成のレベルを落とさず、柔軟に対応するよう要望する。

答 これまでと同条件で継続するよう都と協議しており、柔軟に対応できるよう準備を進めていく。

がん検診の有料化と若年層への啓発強化

問 がん検診の受診率の現状と、有料化により想定される受診率低下について、区の見解を問う。

答 受診率は概ね横ばいで推移している。有料化と併せて環境整備や周知により、受診率向上を図る。

問 舞鶴市を参考に、若年層の子宮頸がん検診受診率向上のため、発信方法の工夫が必要と考える。

答 勧奨通知の工夫等、周知啓発に取り組む。

問 利便性向上と有料化を踏まえた「今後のがん検診政策の全体像」について、区の見解を問う。

答 科学的根拠に基づいた検診、精度の高い検診、受診率の向上を常に意識しながら取り組んでいく。

その他の質問項目

○子どもの野外活動と熱中症対策について



システム標準化及びDX化／あらかわ遊園について

大月 健弘

(ゆいの会 (都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属))



システム標準化対応の進捗及び今後のDX化の取り組みについて

問 令和7年度末までの、区の業務システムの移行について具体的な報告を求めるとともに、開発の進捗と現場への研修について、区の見解を問う。

答 令和7年度中の移行に向けて11システムの準備を進めており、データ移行やテスト作業、操作研修、システム間の連携等にも着手している。

問 リリース時の連絡体制、障害発生時の対応、ベンダーとの保証について、区の見解を問う。

答 庁内の報告体制と開発ベンダーの体制を確保しており、迅速かつ効果的な方法を構築していく。

問 現在はシステム標準化対応に工数がかかっているが、DX化の今後の計画について見解を問う。

答 システム標準化と並行してDXも積極的に推進しており、今後も取り組みを一層加速していく。

あらかわ遊園のサステナビリティ（継続性）への対応・進捗について

問 あらかわ遊園における現在の取り組みと、他の遊園地の情報収集について、区の見解を問う。

答 VR技術の活用等、様々な取り組みを実施してきた。今後も積極的に情報収集を行っていく。

問 収支バランスが難しい状況にある中、中期計画の見直しが必要と考えるが、区の見解を問う。

答 適宜見直しを行い、効果的な集客策を実施する。

その他の質問項目

○今後のスタートアップ支援の方向性について



委員会活動の報告

議会運営委員会

菅谷 元昭 委員長



7月31日～8月1日

◆行政視察

- ①新潟県柏崎市（7月31日）
通年議会について
- ②富山県黒部市（8月1日）
議会基本条例に基づく取り組みの検証について

8月27日

◆9月会議について

- ①提出予定案件について
- ②9月会議の会議期間について
- ③決算に関する特別委員会の設置について 等

◆行政視察の集約について

9月11日

◆9月会議について

- ①追加議案の提出について
- ②陳情書の受理について
- ③議事日程について
- ④一般質問について
- ⑤9月11日の本会議の議事の取り扱い及び順序について
- ⑥9月12日の本会議の議事の取り扱い及び順序について 等

10月8日

◆9月会議の最終日について

- ①議事日程について
- ②10月8日の本会議の議事の取り扱い及び順序について
- ③9月会議の終了について 等

◆今後の議会日程について

◆委員会付託事項

- ①新たに付託された陳情について



行政視察（柏崎市）

常任委員会

総務企画委員会

竹内 明浩 委員長



7月11日

◆区外視察（幕張メッセ）

- ①第30回機械要素技術展における区内企業の共同出展に関する現地調査について

7月14日

◆陳情審査（1件）

8月28日

◆提出予定案件について

- ①荒川区議会議員及び荒川区長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について
- ②財産の取得（児童生徒用机及び椅子）について
- ③令和6年度荒川区一般会計歳入歳出決算について 等

◆所管事務事業説明

- ①指定管理施設に係る令和6年度分の実績評価結果について 等

9月16日

◆付託された議案について

- ①議案第35号
特別養護老人ホームグリーンハイム荒川大規模改修工事請負契約
- ②議案第24号
令和7年度荒川区一般会計補正予算（第4回）
- ③議案第38号
旧工業用水道事務所解体工事請負契約
- ④議案第39号
都市計画道路補助第331号線空頭防護柵及び路面冠水警報表示板等設置工事請負契約
- ⑤議案第32号
（仮称）町屋地区（町屋四丁目付近）ふれあい館建築工事請負契約 等

◆所管事務事業説明

- ①プレミアム付き荒川区共通お買い物券事業の拡充について
- ②令和7年度行政評価（令和6年度決算版）の結果について 等

※二次元コードから各委員会の録音中継が視聴できます（委員会資料は「荒川区議会会議録検索システム」よりご覧ください）

文教・子育て支援委員会

明戸 真弓美 委員長



7月15日

◆区外視察（墨田区）

- ①わんぱく天国

8月29日

◆提出予定案件について

- ①荒川区学童クラブの運営に関する条例の一部を改正する条例について
- ②荒川区立はなみずき保育園の指定管理者の指定について

◆所管事務事業説明

- ①放課後における児童の生活の場の充実について
- ②令和6年度文化3施設の実績評価結果について
- ③令和6年度生涯学習施設の実績評価結果について
- ④令和6年度スポーツ施設の実績評価結果について
- ⑤令和6年度保育施設の実績評価結果について
- ⑥荒川区立はなみずき保育園の指定管理者候補者の選定結果について

9月17日

◆付託された議案について

- ①議案第23号
荒川区学童クラブの運営に関する条例の一部を改正する条例
- ②議案第28号
荒川区立はなみずき保育園の指定管理者の指定について



◀区外視察（墨田区）

福祉・区民生活委員会

増田 峰子 委員長



7月14日

◆区外視察（台東区）

- ①旧台東区立特別養護老人ホーム蔵前

8月28日

◆提出予定案件について

- ①令和7年度荒川区一般会計補正予算（第4回）
- ②令和7年度荒川区国民健康保険事業特別会計補正予算（第1回）
- ③令和7年度荒川区介護保険事業特別会計補正予算（第1回）
- ④南千住駅前ふれあい館の指定管理者の指定について 等

◆所管事務事業説明

- ①ふれあい館3館（南千住駅前、荒木田、西尾久）の指定管理者候補者の選定結果について
- ②令和6年度ふれあい館（15館）の実績評価結果について
- ③令和6年度高齢者福祉施設の実績評価結果について
- ④令和6年度区営住宅等の実績評価結果について
- ⑤令和6年度障害者福祉施設の実績評価結果について
- ⑥がん検診料の新設について ほか

9月16日

◆付託された議案について

- ①議案第30号
荒木田ふれあい館の指定管理者の指定について
- ②議案第21号
障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の改正に伴う関係条例の整理に関する条例 等

◆所管事務事業説明

- ①（仮称）町屋地区（町屋四丁目付近）ふれあい館の施設概要等について

◆委員会付託事項

- ①新たに付託された陳情について

特別委員会

建設環境委員会

夏目 亜季 委員長



7月15日

◆区内視察

- ①荒川2・4・7丁目地区における防災まちづくり施策について

8月29日

◆所管事務事業説明

- ①令和6年度荒川区民住宅等の実績評価結果について
②令和6年度自転車等駐車場施設の実績評価結果について

9月17日

◆所管事務事業説明

- ①荒川区内におけるクビアカツヤカミキリ被害木の初確認について

震災・災害対策調査特別委員会

並木 一元 委員長



7月24日

◆調査研究事項

- ①「荒川区地域防災計画実施推進計画」の令和6年度実績等の報告について

財政援助団体調査特別委員会

茂木 弘 委員長



7月24日

◆調査研究事項

- ①令和6年度包括外部監査の監査意見及びその改善策について
②荒川区芸術文化振興財団について

若者支援・健全育成調査特別委員会

保坂 正仁 委員長



7月22日

◆調査研究事項

- ①荒川区子ども・若者総合計画に基づく若者支援の令和7年度の取り組みについて



会議録に触れてみよう！



会議録検索システム

◆インターネットで読む

荒川区議会ホームページ内の「[会議録閲覧](#)」から、「[荒川区議会会議録検索システム](#)」にアクセスします。

※平成20年4月以降の会議録等が閲覧可能です。



◆紙媒体で読む

ゆいの森あらかわ等の[区立図書館](#)、[区役所地下1階の情報提供コーナー](#)で紙の会議録が閲覧いただけます。



決算に関する特別委員会で 令和6年度決算を認定

令和6年度一般会計歳入歳出決算ほか3特別会計歳入歳出決算については、監査委員を除く全議員で構成される決算に関する特別委員会（委員長＝茂木弘、副委員長＝松田智子）を設置しました。9月19日から審査を行い、いずれも委員会において認定することに決定しました。


斎藤
議長
(左)

茂木
委員長
(中央)

松田
副委員長
(右)

▲決算に関する特別委員会の
進行の様子

令和6年度 決算の概要

		予算現額	決算額		歳入歳出差引 残 高
			歳入（収入率）	歳出（執行率）	
一般会計		1,353億8,556万9,000円	1,254億1,999万6,301円 (92.6%)	1,221億5,265万2,777円 (90.2%)	32億6,734万3,524円
特別会計	国民健康保険事業	241億8,716万7,000円	224億3,596万8,952円 (92.8%)	220億2,085万5,192円 (91.0%)	4億1,511万3,760円
	後期高齢者医療	55億5,500万円	55億1,516万6,794円 (99.3%)	54億3,677万3,248円 (97.9%)	7,839万3,546円
	介護保険事業	198億4,613万8,000円	193億6,779万5,059円 (97.6%)	187億3,450万2,236円 (94.4%)	6億3,329万2,823円

監査委員による決算審査の報告

令和6年度決算審査は、関係諸帳簿及び証拠書類との照合を行うとともに、関係職員から説明を聴取するなどの方法により実施しました。

その結果、決算計数に誤りはなく、各会計の決算内容、予算の執行状況等も適正と認められ、その旨を審査意見として区長に提出しました。また、財政健全化法による「令和6年度決算に基づく健全化判断比率」についても、審査の結果、適正である旨の意見を付し、区長に提出しました。

令和6年度予算は、予算計上した施策を着実に実行するとともに、これまで以上に効果的・効率的な執行に努め、常に問題意識を持って取り組むことが重要という認識の下で執行されました。

こうした中、区は基金残高を減らすことなく、喫緊の課題に機動的かつ柔軟に対応するとともに、

健全で持続可能な財政基盤を堅持していくための取り組みに努められたものと考えられます。

その結果、実質収支は黒字、基金残高は前年度を超える額となるなど、極めて健全な財政運営に努めていると評価できます。

しかしながら、区の財政環境は依然として予算を許しません。小中学校の建て替え等の大規模な財政需要が控えており、今後の需要急増に向けた財政的な備えも不可欠です。

区の財政構造は脆弱であり、徹底的な行政改革の推進等により歳出の抑制を図り、特別区民税の収入率の更なる向上に努めるなど、歳入歳出の両面から健全な財政運営に向けた取り組みを一層推進し、より情勢を精査した財政フレームの改訂に努めることを求め、報告とさせていただきます。

委員会での審査経過

9月19日

◆一般会計歳入歳出決算

○監査委員意見 等

○総括質疑（6会派）

※主な質問項目は下記参照

○歳出審査（議会費・総務費）

9月24日

○歳出審査（総務費）

9月25日

○歳出審査（総務費）

9月29日

○歳出審査（総務費・民生費）

9月30日

○歳出審査（民生費・衛生費・環境清掃費）

10月1日

○歳出審査（環境清掃費・産業経済費・土木費・教育費）

10月3日

○歳出審査（教育費・公債費・諸支出金・予備費）

○歳入審査（一括審査）

○採決 採決の結果

認定することに決定

◆国民健康保険事業特別会計 歳入歳出決算

◆後期高齢者医療特別会計 歳入歳出決算

◆介護保険事業特別会計 歳入歳出決算

○審査

○採決 採決の結果

認定することに決定

主な総括質疑

自民党

明戸 真弓美 委員



○夏の暑さ対策について

○介護の人材確保・DX推進について

○建設・運輸等の人手不足の業界を対象とした就職フェアの開催

○学校施設建て替え計画案について

公明党

菊地 秀信 委員



○東京都環境衛生事業協同組合で働く清掃作業員の処遇改善について

○地域魅力発信映画

「あらかわミラクルLOVE!」について

○多文化共生の推進とイベント開催について

ゆいの会

（都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属）

花澤 昭信 委員



○行政評価の改善とEBPMIについて

竹内 明浩 委員



○自転車への青切符の導入について

共産党

斉藤 邦子 委員



○学校建て替え・統廃合・小中一貫校等の計画について

○公共サービスを担う福祉現場の賃金アップと処遇改善について

立憲民主党

鬼頭 あきゆき 委員



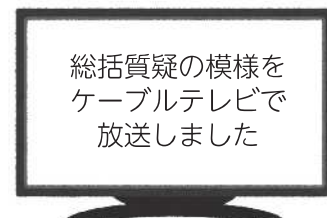
○優秀な人材の確保・維持について

維新・子育ての会

山田 晴美 委員



○特色ある公園の整備について



総括質疑の模様を
ケーブルテレビで
放送しました

荒川区議会ホームページでも
映像公開中！

※各二次元コードから視聴できます



令和6年度決算をこう評価する

10月8日の本会議において、令和6年度一般会計歳入歳出決算について各会派から討論が行われました。その要旨をお知らせします。

一つでも多くの事項を具現化
することを要望し、賛成

自 民 党



令和6年度はより迅速で充実した災害対策の推進が求められ、物価高騰が続くなか、区民や区内事業者に対していかに寄り添うことができるかが試された年度であり、区は自由民主党荒川区議会議員団の要望に対し、真摯に取り組んでいた。基礎自治体として財政の継続性に責任を持つと同時に、いかに住民の福祉の向上を図っていくかを考えて、この度の決算審査では取り組みの成果を見極め、質疑を行った。

区の財政状況は、特別区税・財政調整交付金・



▲子育て家庭の負担軽減

基金残高がいずれも過去最大であり、極めて健全な水準であることを確認した。教育費の無償化について真摯に検討し、子育て家庭の負担軽減を図ったことを改めて感謝する。し

かし、今後の公共施設の建て替えを考えると決して気を緩める状況にはなく、経費削減を目的とした行財政改革で確実に結果を出し、財源を生み出していく必要がある。今後より一層の行財政改革に取り組み、将来にわたり健全で安定的な財政運営を進めていくよう要望する。

決算特別委員会では、次の点について質疑を行った。防災対策の分野では、局所的な集中豪雨や巨大地震発生時における区の備えや対応について質疑・提言を行った。あらゆる事態を想像・想定した上で、区で出来る対策全てについて、迅速に進めるよう強く要望する。

福祉・健康の分野では、介護人材の確保・定着に向けた取り組みや重度障がい者向けのグループホームの整備・拡充、令和あらかわクリニックの進捗状況等について確認・提案を行った。介護人材確保のため、事業者への周知や連携を深め、実効性のある支援を行うよう要望する。

産業・観光の分野では、区内中小企業に対する設備投資補助や訪日外国人の観光誘致策について具体的な提案を行った。区の魅力を広く発信し、観光客の誘致につなげる努力を要望する。

街づくりの分野では、緊急輸送道路沿いの建物耐震化や再開発マンションの転売対策、地域公共交通に関する進捗状況等の確認・提案を行った。更なる啓発と支援の強化を求める。

教育の分野では、学校施設建て替え計画や震災時における学校安全対策、ヤングケアラー等について議論を行った。学校施設の建て替えについては、児童・生徒や保護者、地域住民の方々の意見をよく聞き、議論を尽くし、不安を払拭した形で進めていくことを強く要望する。

環境分野では指定喫煙所の増設、文化・スポーツ分野では西日暮里再開発における文化交流施設やスポーツセンターの教室運営、区政効率化の観点ではDX推進等について取り上げた。

これらは区政運営に極めて重要な項目であり、今後の確に反映するとともに、一つでも多くの事項を具現化することを要望し、本決算の認定に賛成の討論とする。



◀日暮里駅南口
指定喫煙場所

区民サービスの一層の向上に
努めるよう要望し、賛成

公明党



令和6年度は緩やかな景気回復が見られる一方、物価高騰等により、区民の生活環境は依然として厳しい状況にあった。区はこうした状況を踏まえ、区民の安心と暮らしを守る施策を実施しており、その対応を高く評価する。

本決算の審議においては、防災分野では避難所の熱中症対策や電源確保、若者支援分野では18歳以降の若者支援に対する組織のあり方やケアリーバーに対する支援制度の周知及び経済的支援の必要性、介護福祉の分野ではblankフォロー短期研修の実施やキャリアカウンセリング窓口の設置、障がい者福祉の分野では難病対策地域協議会の設置、その他にも、選挙における共通投票所の導入や西日暮里再開発事業に

おける賑わいの創出、夏の防災訓練における暑さ対策、ユニバーサルデザインの視点からのデジタル化等、さまざまな質疑や要望を行った。

今後編成する予算には、これらの質疑・要望と、公明党荒川区議会議員団が提出した要望書を踏まえ、区民が真に必要とする取り組みに重点的に予算を配分するよう要望する。

区民が安心して暮らし、区民がワクワクするよう、区民サービスの一層の向上に努めるよう要望し、本決算の認定に賛成の討論とする。



介護福祉分野での
blankフォロー
研修等を要望

最少経費で最大効果を得られ
る予算執行を要望し、賛成

ゆいの会(都民ファースト・
国民民主・あたらしい党・無所属)



本決算は、歳出が膨らむなか、事業の必要性や効率について不断の見直しを行い、適正な執行を図ってきた結果の数字と受け止めている。

決算特別委員会において、ゆいの会からは多岐にわたり質疑を行った。総務費では標準システム導入や情報セキュリティ体制の課題等、民生費では障がい児を育てる親が安心して働ける仕組みづくりや外国人の国民健康保険料滞納への対応、衛生費では火葬料金の高騰に対する区の積極的関与、産業経済費では隅田川花火大会における汐入公園内へのゴミ箱設置、土木費では下水道管整備の前倒し等について求めるとともに、こうした提言と合わせ、令和8年度予算

要望書を区長に提出した。

今後、税及び保険料に関しては、子ども子育て支援金の一部が医療保険料に上乗せされることへの懸念、ガソリン減税実施の際の減収の影響等が推測される。また、自然災害への対応、学校や区庁舎の建て替え等の区政課題がある。

実質賃金が依然としてマイナスである今、増税策ではない歳入確保に努め、最少の経費で最大の効果を得られるような予算執行を行い、今回の提案事項を来年度予算に反映することを要望し、本決算の認定に賛成の討論とする。



情報セキュリティ体制の
改善等を要望

暮らしや住宅支援など不十分、
「民営化」見直しを求め、反対

共産党



本決算の認定に反対する。理由として、第1に、区民の暮らし応援が不十分で、低所得者へのエアコン設置費補助や中小事業者への直接支援の拡充等が必要な時期であり、改善は急務である。

第2に、街づくりでは、住宅困窮者への新たな支援が無い一方で、マンション建設に巨額の税を投入している。再生型の再開発、住み続けられる街づくりに大転換を図るべきである。

第3に、直営の地域包括支援センター設置や公的ヘルパーの配置等の検討が必要であるが、民営化路線の見直しが無い。令和5年の学童クラブ虚偽報告問題後も民営化方針は変わらず、

公の責任が問われる中、区長の見解が見えない。

第4に、区民の声を聞かずにがん検診有料化を進めたことは重大で、区民との協働に逆行しかねず、学校建て替え計画では、住民や子どもの声を十分聞かずに進むことが危惧される。駅前再開発も総合的な見直しが必要である。

第5に、防災対策では、情報収集・伝達は最重要課題であり、災害情報受信機や屋内安全対策について、迅速な対応を求める。

以上、日本共産党荒川区議会議員団は来年度の予算編成を注視し、本決算の認定に反対の討論とする。



災害情報受信機

子ども議会が開催



子ども議会の様子



子ども議員

令和7年8月26日、荒川区議会議場で「子ども議会」が開催されました。「子ども議会」は、「荒川区子どもの権利条例」の制定を契機として、子どもの意見を区の施策に反映させ、子どもの権利を保障し、子どもたちが安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的としたものです。区立中学校10校から各2名の生徒が子ども議員として選出され、議場で質疑を行いました。

保護者や区議会議員が傍聴席から見守るなか、子ども議員からは地域イベントの活性化や公共施設の充実、部活動の地域連携等、幅広い分野で質問が行われ、区の所管課長が各質問に対して答弁しました。



子どもの権利
条例とは？



子どもの権利を保障し、子どもの健やかな成長を支えていくことを目的として、令和5年に議員提出議案により制定された条例。

議案の審議結果

令和7年度定例会・9月会議

○賛成 ×反対 ※太字は討論のあったことを示す

議案番号・議案名		会派名・結果 (数字は会派人数)	自	公	ゆいの会	共	立	維新・子育ての会	結 果
 各議案の概要はこちらから (区議会HP)			民	明	(国民民主党・あたらしい党無所属)	産	憲		
			党	党	党	党	党		
			11	6	6	5	2	1	
区長提出議案（23件）									
第21号	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の改正に伴う関係条例の整理に関する条例		○	○	○	○	○	○	可決
第22号	荒川区議会議員及び荒川区長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	可決
第23号	荒川区学童クラブの運営に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	可決
第24号	令和7年度荒川区一般会計補正予算（第4回）		○	○	○	○	○	○	可決
第25号	令和7年度荒川区国民健康保険事業特別会計補正予算（第1回）		○	○	○	○	○	○	可決
第26号	令和7年度荒川区介護保険事業特別会計補正予算（第1回）		○	○	○	○	○	○	可決
第27号	財産の取得（児童生徒用机及び椅子）について		○	○	○	○	○	○	可決
第28号	荒川区立はなみずき保育園の指定管理者の指定について		○	○	○	○	○	○	可決
第29号	南千住駅前ふれあい館の指定管理者の指定について		○	○	○	○	○	○	可決
第30号	荒木田ふれあい館の指定管理者の指定について		○	○	○	○	○	○	可決
第31号	西尾久ふれあい館の指定管理者の指定について		○	○	○	○	○	○	可決
第32号	（仮称）町屋地区（町屋四丁目付近）ふれあい館建築工事請負契約		○	○	○	○	○	○	可決
第33号	（仮称）町屋地区（町屋四丁目付近）ふれあい館電気設備工事請負契約		○	○	○	○	○	○	可決
第34号	（仮称）町屋地区（町屋四丁目付近）ふれあい館機械設備工事請負契約		○	○	○	○	○	○	可決
第35号	特別養護老人ホームグリーンハイム荒川大規模改修工事請負契約		○	○	○	○	○	○	可決
第36号	特別養護老人ホームグリーンハイム荒川大規模電気設備改修工事請負契約		○	○	○	○	○	○	可決
第37号	特別養護老人ホームグリーンハイム荒川大規模機械設備改修工事請負契約		○	○	○	○	○	○	可決
第38号	旧工業用水道事務所解体工事請負契約		○	○	○	○	○	○	可決
第39号	都市計画道路補助第331号線空頭防護柵及び路面冠水警報表示板等設置工事請負契約		○	○	○	○	○	○	可決
認定第1号	令和6年度荒川区一般会計歳入歳出決算		○	○	○	×	○	○	認定
認定第2号	令和6年度荒川区国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算		○	○	○	×	○	○	認定
認定第3号	令和6年度荒川区後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算		○	○	○	×	○	○	認定
認定第4号	令和6年度荒川区介護保険事業特別会計歳入歳出決算		○	○	○	×	○	○	認定

全国の議会が視察に訪れています



7月10日～10月8日の間、10団体の行政視察を受け入れました。

日程	視察受入議会名	主な視察項目
7月31日	 京都府京田辺市議会	荒川区民総幸福度（GAH）について
8月6日	 島根県出雲市議会	ゆいの森あらかわについて
8月7日	 愛知県豊田市議会	ゆいの森あらかわについて
8月20日	 兵庫県加古川市議会	不燃化特区と細街路拡幅整備事業について
8月27日	 沖縄県糸満市議会	特殊詐欺に対する取り組みについて
9月5日	 大阪府大阪市会	中学校防災部について
9月18日	 秋田県八峰町議会	中学校防災部について
9月25日	 三重県鈴鹿市議会	ゆいの森あらかわについて
10月2日	 長崎県大村市議会	読書を愛するまち・あらかわの推進について
10月2日	 長崎県長崎市議会	学校図書館支援事業について



大阪市会様



八峰町議会様



大村市議会様

福島県福島市長が議長を表敬訪問

令和7年7月31日、木幡浩福島市長とミスピーチキャンペーンクルーが荒川区議会議長を表敬訪問しました。

福島市と荒川区の交流は、戦時中、荒川区が福島市に学童疎開をしていたことがきっかけで始まりました。これまで、友好都市協定の締結や桃の販売会等の連携事業の実施、まつりへの相互参加等を通して、交流を深めています。



（左から）木幡市長、斎藤議長、ミスピーチ

* 11月会議は、11月20日（木）から開会を予定しています。